



関係者が一台づつ声をかけ事故防止を図る↑

★ 無 商工会の日に交通安全キャンペーン 事故を願って

長島町商工会では「6月10日の商工会の日」にあわせて、道の駅黒之瀬戸だんだん市場前の駐車場で6月13日、「商工会の日交通安全街頭指導キャンペーン」を行いました。

この日は、事故を減らすようにポケットティッシュやお茶、長島特産の赤まきなどが200個準備されました。午前10時から始まったこのキャンペーン、駐車場では長島方面から黒之瀬戸を渡る全車両を止め「交通事故には気をつけて」と声をかけながら窓越しに渡していました。大型トラックの運転手は「ありがとうございます。交通事故を起さないよう、あわないよう気持ちを引き締めたいと思います」とお礼を言っていました。

伊唐小児童のマダイの放流↓



鷹巣小のヒラメの放流↑

★ 2 県豊かな海づくりパイロット事業 校が稚魚の放流体験

東町漁業協同組合青壮年部（竹上裕記部長）は、「鹿児島県豊かな海づくりパイロット事業」を活用し、育てる漁業としてヒラメの稚魚とマダイの稚魚の放流体験を、町内の2校の児童らと一緒に行いました。

5月27日、鷹巣小学校4・5年生の児童らは薄井漁港対岸の竹島港棧橋から4隻の船に別れ、竹島港近くや伊唐大橋下の浅瀬などでヒラメの稚魚1万8千匹余りを放流。伊唐小学校では全校児童が6月16日、伊唐港から2隻の船で港の沖合いに移動し、約1万2千匹のマダイの稚魚を広い海に放ちました。児童らは「大きくなってね」と何度も声をかけながら稚魚が海面に潜っていくのを笑顔で見送っていました。鷹巣小の山上綾音さん（4年）は「ヒラメの赤ちゃんはかわいくてとても楽しかった」、伊唐小の中村優里さん（6年）は「マダイが大きく育つように海の水を汚さないように気をつけたい」と話しました。